

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

| | |
|----------|------------------|
| 園名 | 聖ピオ保育園 |
| 実施期間 | 2024年11月～2025年1月 |
| クラス名(年齢) | さくら組(5歳児) |
| 活動のテーマ | 音 |

1.活動テーマ

<テーマ>

音ってなんだろう

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

聖ピオ保育園では20年以上和太鼓の発表を行ってきている。その中で太鼓の音の響きに興味を持つ子どもがいた為

2.活動スケジュール

11月…発表会に向けてではなく、自由にたたく中で音に興味を持ちいろいろ試す
12月…子どもから出た疑問に対して試してみる
1月…音についての説明と、桶胴太鼓づくり

3.環境をデザインする(活動のために準備した素材・道具・環境設定)











11月…①カいっばいたたくエリア ②いろいろなバチでたたくエリア ③手で持ってたたくものエリア ④桶胴太鼓エリア 4つのエリアに分け、興味を持ったエリアに移動してたたくことができるようにした。
12月…子どもから出た ①太鼓の中身はどうなっているか ②太鼓の上に物を乗せるとどうなるか ③自分たちの太鼓を作りたい という意見を参考に桶胴太鼓を分解して中身を見てから、太鼓の上にいろいろなものを乗せてたたいてみるとうどうなるか実践した。
1月…音とは何かという疑問が出た為、工作と撮影した動画で音＝振動という説明をしてからチームで桶胴太鼓を作る。

4.探究活動の実践

<活動内容>

11月…それぞれのエリアで、いろいろなものをたたきながら疑問を持ち、試してみようとする姿が見られた。友だちと一緒に歌いながらたたき姿や、初めて見る桶胴太鼓に興味を持ち、進んでたたいていた。また、拍子木や鉄琴等太鼓とは関係ないものにも興味を示していた。
12月…桶胴太鼓の中身を見てみると、いろいろな気づきがあった。その中で実は簡単な作りであることがわかり、作ってみたいという意見が強くなった。太鼓の上に物を乗せて叩いてみるのは、子どもから出た「太鼓の上に物を乗せると飛んでいくらしいよ」という言葉がきっかけで、いろいろなものを飛ばしたり、水や砂なども乗せてたたいてみた。変化に驚きながらもどうしてそうなるのか疑問が出た。
1月…音＝振動の説明をするために、声で蛇が動く工作を行う。工作後動画も見ながら説明をした。そのあと桶胴太鼓づくりを行う。チームで協力しながら完成させ、自分で作った太鼓だと喜ぶ姿が見られた。

<活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり>

| 子どもの姿・声 | 写真 |
|---|---|
| <p>・自由に太鼓をたたく。友だちと一緒に歌いながらたたいたり今まで聞いたことがない音に興味を持っていた。</p> <p>・桶胴太鼓に興味を持つ子が多かった。たたいてみると打ちにくそうにしていたが友だちと支えあってたたき姿も見られた。「ちょっとそっちもって」「こうやるとたたけるよ」</p> <p>・桶胴太鼓の中身を見せたら、中身よりも皮に興味を持っていた。</p> |   |
| <p>・太鼓に砂や水を乗せてたたいた。「すながおどてるよ」</p> <p>・「ビーズをのせたらどうなるかな」飛び散って大喜びしていた。</p> |   |
| <p>・工作「ぶるぶるへびダンス」で蛇を躍らせるためにみんなで声をだしていた。「うおー」「きゃー」等悲鳴が多かった。</p> <p>・桶胴太鼓づくり。チームで力を合わせて作っていた。「こちがうんじゃない?」「あってるよ」と揉めていたので、見てみると間違えていた。指摘するとみんなが笑い出した。作ることを楽しんでいた。</p> |   |
| |   |
| |   |

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

3回目の内容は「すくすく」も「わくわく」もなく、ただ「小さい製作」と「大きい製作」をしただけになってしまった。これは、子どもたちのの疑問に答えようと思い、そのための方法を失敗したこと、桶胴太鼓を作るという目的がそもそもすくわくと違っていったのかなと思う。反省点である。

発表会に向けてではなく、自由にやってみることで子どもたちの興味がいろいろなところに向かうのを目の当たりにした。「バチの違いで音が違う」「太鼓の裏と表で違う音がする」「太鼓に乗せてたたくとすくく飛んでいく」等の気づきを嬉しそうに話してくれる姿は、これまでの活動ではなかったことだった。探究する姿として印象に残っている。また友だちと好きな歌を歌いながらリズムをとっている子もいてこういう表現を引き出せたことは喜びだった。人とかかわりの中で成長する姿が見られたと思う。